



# 学校だより

8・9月号

ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mutsukawadai/>

横浜市立六つ川台小学校

平成29年8月28日

## 〇〇に夢中になる子

校長 滝本 俊一

長い夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が六つ川台小学校に戻ってきました。朝会で元気な子どもたちの姿を見て、今年もみんな無事に夏休みを過ごすことができたのだと、一安心しました。これも、長い休みの間、保護者の皆様はもちろん、多くの地域の皆様が子どもたちを温かく見守っていただいたおかげだと思います。ありがとうございます。

さて、この長い夏休み、子どもたちはどのように過ごしたのでしょうか？学校では、夏休みの初めにサマースクールを実施しました。一人一人の目当てに沿っての自主的に学習する学習教室や学年水泳教室がありました。自主性を基にした学習で、全校の子どもたちが参加したわけではありませんが、来ているどの子も真剣に取り組んでいました。水泳教室に参加した子どもたちの多くが、南区小学校水泳記録会に臨みました。六つ川小、六つ川西小、別所小、そして六つ川台小の4校の子どもたちが一堂に会し、自分自身の記録に挑みました。六つ川台小の子どもたちは、どの子も夢中になって泳ぎ、夢中になって応援をしていました。特に、自校の選手を応援する声は、六つ川台小が一番大きかったです。水泳記録会に臨む六つ川台小の子どもたちの姿にとっても感心しました。

また、夏休み中は多くの地域で祭り等の行事が行われていました。神輿を担ぐ子、山車を引く子など、子どもたちが地域の中で活躍する姿も見られました。大丸町内会のお祭りでは本校の5、6年生の有志が運動会で踊ったソーラン節を披露しました。このソーラン節は9月に行われる横浜パークタウン自治会のお祭りでも披露します。

このように、学校や地域で生き生きと活動する子どもたちの姿を見ることができましたが、家庭に帰った子どもたちは、それぞれ様々な夏休みを過ごしたことでしょう。私自身が小学生の頃は、夏休みというとクワガタやセミなどを捕まえることばかりに夢中になっていました。普段、学校に行く時よりも早起きをして近くの林に出かけたり、虫取り網を持って走り回ったりしていました。また、電車の写真を撮ったり、切符を集めたりすることに夢中になった時期もありましたし、野球に夢中になった時期も

ありました。いろいろな事に夢中になって取り組んだこれらの体験は、今でもよく覚えていますし、貴重な経験だったと思っています。

何かに夢中になる、一生懸命取り組むことは、子どもたちにとって大事なことだと思います。野球やサッカー、バスケなどのスポーツに夢中になって取り組んでいる子、自分の趣味に夢中になっている子もいるでしょう。何か一つのことでなく、学校行事や地域行事、友達との遊びなどいろいろな事に夢中になって取り組むということも価値のあることだと思います。何かに夢中になれる子ども、そんな子どもであってほしいと願っています。

今年の8月は例年になく涼しい日が続きましたが、夏休みが終わりに近づいた頃から、暑さが戻ってきました。9月は、6年生の修学旅行や4年生の上郷体験学習、3、4組の南区合同宿泊体験学習などの行事があります。子どもたちの体調に十分留意し、熱中症等にも気を付けながら取り組んでいきたいと思っています。今月もよろしく願いいたします。